

紙芝居で歴史知って

星ヶ塔黒曜石原産地遺跡

町社会
教育委
町図書館で披露

下諏訪

下諏訪町社会 日、町内の東俣国有林内に位置する国史跡「星ヶ塔黒曜石原産地遺跡（星ヶ塔遺跡）」を題材にしたオリジナル紙芝居「キラリと光るおてんとさまのかげら」を町図書館に寄贈し、同日



図書館に寄贈されたオリジナル紙芝居がおはなし会で披露された

紙芝居で分かりやすく伝えようと考

え、オリジナルの紙芝居を制作。2023年に開いた県の社会教育研究大会で初めて発表した。

紙芝居はB4版で、14枚の絵で構成。小学生が星ヶ塔遺跡で縄文時代にタイムスリップして黒曜石や昔の暮らしに触れるオリジナルストーリー。子どもたちの好奇心を刺激し、歴史に興味を持たせる内容。

篠遠良子委員長は「星ヶ塔遺跡は国有林内にあり、子どもたちが行くのは難し場所にあるので、紙芝居を通じて遺跡や町の歴史を知ってもらいたい」と話していた。

同委員会では紙芝居を50部製作しており、町図書館のほか、町内の学校図書館、近隣市町村の図書館、星ヶ塔ミュージアム・矢の根などにも寄贈する。